

①相談支援・人材育成部会

活動報告・活動計画

1 報告事項

- ・平成 27 年度に引き続き、県が実施する障害福祉の資格取得の研修企画について、相談支援・人材育成部会が関わり、人材育成と指定・委託事業の共働、相互推進を図った。
- ・その他、県が独自に企画・実施する研修についても、同部会で検討した。
- ・集中的・機動的に協議する必要があるものは、ワーキングを開催した。

(1) 初任研ワーキング（相談支援従事者初任者研修WG）

①活動内容 4回のワーキングを開催

②研修の実施状況

5日課程において2つの日程（A・B日程）で開催し、240名の定員に対し317名の申込があったため、ケアマネジメントの資質向上を目的としている者等を受講不可とし、88.57%の受講者決定率となっている。

| | 平成26年度 | | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | |
|------|---------|------|------|--------|------|------|--------|------|------|
| | 応募者 | 受講不可 | 修了者 | 応募者 | 受講不可 | 修了者 | 応募者 | 受講不可 | 修了者 |
| 2日課程 | 365人 | 0人 | 344人 | 385人 | 7人 | 363人 | 348人 | 0人 | 343人 |
| 5日課程 | 319人 | 0人 | 306人 | 295人 | 21人 | 246人 | 317人 | 76人 | 225人 |
| 計 | 684人 | 0人 | 650人 | 680人 | 28人 | 609人 | 665人 | 76人 | 568人 |
| 受講率 | 100.00% | | | 95.88% | | | 88.57% | | |

③まとめ

- ・引き続き相談支援専門員の定着が図れるよう研修内容を充実させる。
- ・平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金を活用して相談支援従事者研修カリキュラムの見直しが行われているところであり、国の動向に注視し、平成 30 年度の法改正に向けて、沖縄県の研修体系見直しを検討する必要がある。

(2) 現任研ワーキング（相談支援従事者現任研修WG）

①活動内容 4回のワーキングを開催

②研修の実施状況

- ・27年度研修アンケート及び指定研修事業者の収支決算等を踏まえ、従来どおり2日間の宿泊型研修とするか、昼間3日課程の研修とするか、ワーキングで協議し、3日課程で開催することとなった。
- ・外部講師として、興南学園 我喜屋理事長及び地域づくりネットワーク 山城副会長に、人材育成や地域づくりについて講師を依頼した。
- ・70名の定員に対し、88名の申込があったため、受講者の選考を行い、初任研を受講してからの経験年数が浅いものを不可とした。

| 平成26年度 | | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | |
|--------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|
| 定員 | 応募者 | 受講者 | 定員 | 応募者 | 受講者 | 定員 | 応募者 | 受講者 |
| 40人 | 72人 | 44人 | 100人 | 68人 | 71人 | 70人 | 88人 | 79人 |

会場：宜野湾市フェストーン

会場：ユインチホテル南城

会場：県総合福祉センター

③まとめ

- ・引き続き研修開催の持ち方等を検討・工夫し、研修内容を充実させる。
- ・初任研WGと同様、国の動向に注視し、平成30年度の法改正に向けて、沖縄県の研修体系見直しを検討する必要がある。

(3) サビ管ワーキング（サービス管理責任者等研修WG）

①活動内容 4回のワーキングを開催

②研修の実施状況（5分野）

| 年度 | 分野 | | 介護 | | 地域生活（身体） | | 地域生活（知的・精神） | | 就労 | | 児童発達支援管理責任者研修 | |
|------|-------------|-------------|------|------|----------|-----|-------------|-----|------|------|---------------|------|
| | 全体 | | 応募者 | 受講者 | 応募者 | 受講者 | 応募者 | 受講者 | 応募者 | 受講者 | 応募者 | 受講者 |
| 28年度 | 応募者 706人 | 受講者 467人 | 92人 | 92人 | 6人 | 6人 | 89人 | 89人 | 219人 | 140人 | 300人 | 140人 |
| 27年度 | 644人 | 507人 | 108人 | 103人 | 7人 | 7人 | 91人 | 88人 | 211人 | 168人 | 227人 | 141人 |

※ 27、28年度ともに、各分野2回開催（地域生活（身体）は1回）。

③まとめ

- ・昨年度と同様、分野別演習を2回に分けて開催した（分野別 身体を除く）。
- ・介護、身体、知的・精神、就労の4分野については例年並みの申込者数であったのに対し、児童発達支援管理責任者研修は大幅に増加したため（対前年度比72名の増）、研修の持ち方、会場の確保等について検討・工夫が必要
- ・平成27年度厚生労働科学研究費補助金を活用してサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修カリキュラムの見直しが行われ、素案が示されたところであり、国の動向に注視し、平成30年度の法改正に向けて、沖縄県の研修体系見直しを検討する必要がある。

(4) ファシリワーキング

未開催

(5) ケアマネワーキング

①経緯

- ・相談支援体制の整備、人材育成、研修事業について継続的に協議するために設置した。

②活動内容

- ・2ヶ月に1回、計5回のワーキングを開催した。

③活動報告

■サビ管ネットワーク会議の立ち上げ支援について

- ・各地域で自発的に行われている勉強会や意見交換会について、リスト化し、各アドバイザーが圏域でまとめた上で、県HPにて公開する。

■ピアサポーター養成の取組について

- ・沖縄市の啓発事業を事例紹介していただいた。
- ・予算は地域生活支援事業の市町村事業のうち、「自発的活動支援事業」で、各市町

村の協議会に提案し、委託相談事業とコラボができないか検討を進める。

- 相談支援専門員のスーパーバイズ（相談支援の質の向上）について
 - ・相談支援専門員のスーパーバイズのための管理者向け意識啓発のため、管理者向けアンケートを実施し、その結果を分析している。
- 就労支援部会との連携による就労系サビ管専門研修の企画について
 - ・研修のための準備会を7月に開催。県の部会を通して圏域におろし、圏域単位で研修会実施に向けて取り組んでもらうことになった。
- アドバイザー連絡会議からの提案
 - ・法定研修のワーキングに当事者枠をつくってはどうかということになった（提言）。
- 認定調査員研修について
 - ・現在、年1回実施している市町村担当者向け研修について、年に複数回開催の要望があったため、年2回対応する方向で調整していく。
- 市町村職員向けケアマネ研修について
 - ・相談支援を管轄する市町村職員からケアマネ研修の要望があるので、次年度の7～9月あたりに実施する方向で検討。
- 当事者・保護者向け研修について
 - ・保護者向け研修はやる方向で、各アドバイザーから市町村の相談支援部会や療育・教育部会、自立支援協議会などであげる（内容は地域ごとに検討）。
 - ・児童デイの事業者が、学校に利用者を迎えに行くと不審者扱いされることがあるらしいので、学校教員向けにもやった方がよい。
- 児童のレスパイトケアについて
 - ・ショートステイの乱暴な利用があるので、相談員に対して勉強会を実施する。
 - ・児童デイの時間延長などで対応できる事例も多いと考えられる。
 - ・受け皿は増やしつつ、相談支援のインテークの向上も別で行っていく。
 - ・サビ管の準拠研修で意識啓発の研修を行いたい。
 - ・医療的ケア児の短期入所等も検討したい。
- ブラッシュアップ研修について
 - ・今年度はOSN単独で行うが、次年度からは指定研修として実施したい。
 - ・内容としては、現任研に近いイメージ。相談支援の業務であるインテーク、アセスメント、社会資源開発など、要望に応じて実施内容を検討したい。
 - ・次年度からはワーキングを行い、指定研修にする方向で進める。

2 協議事項

(1) 平成29年度の相談支援・人材育成部会の活動計画（案）について

①部会の開催について

- ・年1回以上の開催とする。
- ・各ワーキングの報告等を受けて必要な指示、各圏域からの課題検討、その他の全体調整。
（※ 研修体系の見直しに向けて）
- ・平成30年度から法定研修の内容及び体系が変更される予定であるため、必要に応じて部会の開催及びワーキングの新規設置等を検討する。

②研修関係ワーキングについて

ア 資格取得の研修ワーキング

従来の4研修にブラッシュアップ研修を追加する。また、ワーキングによる企画が人材育成と指定・委託事業の相互推進に効果的と認められるため、各々2～4回程度のワーキングを開催する。

- ・初任研ワーキング（相談支援従事者初任者研修）
- ・現任研ワーキング（相談支援従事者現任研修）
- ・サビ管ワーキング（サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修）
- ・県企画研ワーキング（ファシリテーション研修・ブラッシュアップ研修等）（新規）

③ケアマネワーキングについて

- ・サビ管ネットワーク会議の立ち上げ支援
- ・ピアサポーター養成の取組推進
- ・相談支援専門員のスーパーバイズ（相談支援の質の向上）の取組推進
- ・就労支援部会との連携による就労系サビ管専門研修の企画
- ・市町村職員向けケアマネ研修の企画
- ・当事者・保護者向け研修の取組推進
- ・児童のレスパイトケアの取組推進
- ・ブラッシュアップ研修の企画

沖縄県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 年間活動計画 行程表 (案)

H29. 2. 6

| 会議名/年度・月 | H28年度 | | | | | 平成29年度 | | | | | | | | | |
|-------------|----------------|---|----|----|----|--------|-------------------------------|----|----|-----|--------------|-------------------------------|----|----|-----------------------------------|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 県自立支援協議会 | ○ | ● | | | | | | | | | | | | ● | |
| | 1/23 県自立支援連絡会議 | 2/15 協議会 ・部会報告/年間計画承認 ・各圏域報告 ・抽出課題協議 | | | | | | | | | | | | | ・部会報告/年間計画承認 ・各圏域報告 ・抽出課題協議 |
| 相談支援・人材育成部会 | | | | | | | ● | | | | | ● | | | |
| | | | | | | | ・WG報告/年間計画検討 ・各圏域報告、抽出課題協議 | | | | | ・WG報告/年間計画検討 ・各圏域報告、抽出課題協議 | | | |
| ケアマネワーキング | ● | | ● | | ● | | ● | | | | | | ● | | ● |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 初任研ワーキング | | | | | ● | ● | ● | | | | | | | | |
| | | | | | ● | ● | ● | | | | | | | | |
| 現任研ワーキング | | | | | | | | ● | ● | ● | ★ | | | | |
| | | | | | | | | | | | 11/15~17 (案) | | | | |
| サビ管ワーキング | ★ | ★ | | | | | | ● | ○ | ● | ● | ● | | | |
| | 1/5~7 A日程 | 2/4~5 B日程 (分野別のみ) | | | | | | | | | | | | | |
| 県企画研ワーキング | | | | | | | | | | | | | | ★ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

注1 ●は部会・ワーキング等開催 ★は研修開催 ○はその他(国研修等)

平成28年度沖縄県相談支援従事者初任者研修 日程表(案)

| 研修カリキュラム | | | | | | 対象者 | |
|-------------|----------------------------------|---|---|--|-----|-------------|-------------|
| 日数 | 研修日 | 科目 | 獲得目標 | 時間数 | 時刻 | | |
| 1 日 目 | 7/14 (木) 浦添市てだこホール (大ホール) | 受付 | | | | 9:30~10:15 | |
| | | 開講式・ オリエンテーション | | | | 10:15~10:30 | |
| | | 障害児者の地域生活支援 | 障害児者の地域生活における社会資源の役割 や支援内容を理解する。 | 1.5 | | 10:30~12:00 | |
| | | 昼食 | | | | 12:00~13:00 | |
| | | ケアマネジメント(概論) | ケアマネジメントのプロセスと技術について 理解する。 | 2.0 | | 13:00~15:00 | |
| | | 休憩 | | | | 15:00~15:10 | |
| | | 相談支援における権利擁護と 虐待防止 | ケアマネジメントプロセス全般における権利 擁護の視点と虐待防止などにおいて果たすべ き役割を理解する。 | 2.0 | | 15:10~17:10 | |
| 2 日 目 | 7/15 (金) 浦添市てだこホール (大ホール) | 受付 | | | | 9:15~9:30 | |
| | | 障害者の日常生活及び社会生 活を総合的に支援するための 法律の概要 | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支 援するための法律及び児童福祉法の趣旨、目 的やサービス内容の基本的な理解を深める。 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支 援するための法律におけるケアマネジメントの 制度化と市町村における相談支援事業の役 割を理解する。 | 3.0 | | 9:30~12:30 | |
| | | 昼食 | | | | 12:30~13:30 | |
| | | 障害者の日常生活及び社会生 活を総合的に支援するための 法律等における計画作成と サービス提供のプロセス | サービス提供に当たっての一連のプロセスを 理解する。 | 2.0 | | 13:30~15:30 | |
| | | 休憩 | | | | 15:30~15:40 | |
| | | 相談支援の基本姿勢 | 相談支援において重視すべき理念等について 理解する。 | 1.5 | | 15:40~17:10 | |
| 3 日 目 | A日程 | B日程 | 受付 | | | 9:00~9:20 | |
| | 8/29 (月) 浦添市てだこホール (市民交流室) | 9/21 (水) 浦添市てだこホール (市民交流室) | ケアマネジメントの実践 | 実例を通して、アセスメント・サービス利用 計画作成・社会資源の活用と調整、モニタリ ングを理解する。 | 3.0 | | 9:20~12:20 |
| | | | 昼食 | | | | 12:20~13:20 |
| | | | ケアマネジメントの実践 | 実例を通して、アセスメント・サービス利用 計画作成・社会資源の活用と調整、モニタリ ングを理解する。 | 3.0 | | 13:20~16:20 |
| | | | 休憩 | | | | 16:20~16:30 |
| | | | 実習ガイダンス | 実際の事例を選定して、ケアマネジメントプ ロセスを個別学習することによって、演習に つなげる | 1.0 | | 16:30~17:30 |
| 4 日 目 | A日程 | B日程 | 受付 | | | 9:00~9:20 | |
| | 8/30 (火) 浦添市てだこホール (市民交流室) | 9/22 (木) 浦添市てだこホール (市民交流室) | 演習Ⅰ | 課外実習で作成した各自のアセスメント表、 サービス等利用計画案を発表し、相互の事例 の理解を深める。 | 3.0 | | 9:20~12:20 |
| | | | 昼食 | | | | 12:20~13:20 |
| | | | 演習Ⅱ | 模擬的なサービス担当者会議を通じて事例検 討を行いケアマネジメント手法を具体的に理 解する。 | 4.0 | | 13:20~17:20 |
| 5 日 目 | A日程 | B日程 | 受付 | | | 9:00~9:20 | |
| | 8/31 (水) 浦添市てだこホール (市民交流室) | 9/23 (金) 浦添市てだこホール (市民交流室) | 演習のまとめ | 発表事例の事後的・客観的評価により実習・ 演習の総括を行う。 | 3.0 | | 9:20~12:20 |
| | | | 昼食 | | | | 12:20~13:20 |
| | | | 協議会の役割と活用 | 協議会の必要性と運営方法について理解す る。 | 3.0 | | 13:20~16:20 |
| | | | 閉講式 | | | | 16:20~17:00 |
| 計 | | | | 32.0 | | | |

※諸般の事情により、研修カリキュラムを変更する場合があります。

平成28年度 沖縄県相談支援従事者 現任者研修 日程（カリキュラム）

| 月日 | 時間 | 科目 | 事前課題の有無 | 実施する内容 | 講師（敬称略） |
|---------------------|-----------------|-------|---|--|---------------------------------------|
| 1日目 11/28 (月) | 12:30～ 12:50 | 20(分) | | 受付 | |
| | 12:50～ 13:00 | 10 | | 開講式とオリエンテーション | |
| | 13:00～ 13:30 | 30 | 無し | 本研修のねらいを確認する。 | 南部圏域AD 溝口 哲哉 |
| | 13:30～ 14:00 | 30 | 無し | 障害者福祉施策及び関連施策に関する最新の動向を理解する。 (改正障害者総合支援法の内容) | 県障害福祉課 主任 銘苅 大悟 |
| | 14:00～ 14:10 | 10 | | 休憩 | |
| | 14:10～ 16:10 | 120 | 無し | 相談支援において重視すべき理念及び相談支援の意義や役割等について理解する。 | (社福)唐池学園貴志園 園長 富岡 貴生 |
| | 16:10～ 16:20 | 10 | | 休憩 | |
| | 16:20～ 17:20 | 60 | 無し | 居住サポート事業 | (株)レキオス 事業本部長 下地 雅美 |
| | 18:30～ | | | ワイガヤ交流会(仮称) 会場：和民 新都心店 | 情報・意見交換を通じての交流ネットワークづくり |
| 2日目 11/29 (火) | 09:00～ 09:30 | 30 | | 受付 | |
| | 9:30～ 11:00 | 90 | 無し | 講話(90分) 興南高校を甲子園で優勝させた「人材育成・マネジメント術」 | 学校法人興南学園 理事長 我喜屋 優 (進行：コラボレーター) |
| | 11:00～ 12:30 | 90 | | 個人ワーク(10分) 感想の共有(60分)グループで司会・記録・発表者を選定し、深めてみたいテーマを自分たちで選定してもらう。 発表(2～3グループ)(10分) | 各圏域コラボレーター |
| | 12:30～ 13:30 | | | お昼休憩 | |
| | 13:30～ 16:30 | 180 | 無し | ケアマネジメントプロセスの再確認 講話(30分) (リフレーミング・ストレングス視点) 演習(150分) 「ご本人の想いを形にするために」～ご本人の想いを100文字程度にまとめる～ | 各圏域AD |
| | 16:30～ 16:40 | 10 | | 休憩 | |
| 16:40～ 18:40 | 120 | 無し | 講話(50分) 「地域の課題解決・地域資源の付加価値を高める地域づくり」 休憩(10分) GW(50分) テーマ①(20分) 「話しあってみよう！講師の取組んできたポイントについて」 テーマ②(20分) 「考えてみよう！相談支援専門員として地域への仕掛け方」 グループ発表(10分) まとめ(山城氏より)(10分) | 沖縄県地域づくりネットワーク 副会長 山城 定雄 (進行：津嘉山AD) | |
| 3日目 11/30 (水) | 09:00～ 09:15 | 15 | | 受付 | |
| | 9:15～ 12:15 | 180 | | 現場で活かせるスーパービジョン 講話(スーパービジョンの意義、スーパービジョンの実情、場面と類方から考えるスーパービジョン) 実演→感想 実践 | 沖縄大学人文学部福祉文化学科 准教授 島村 聡 |
| | 12:15～ 13:00 | | | お昼休憩 | |
| | 13:00～ 16:30 | 210 | | 意思決定支援の意義と相談支援における対応 講話(意思決定支援とは、イギリスの意思能力法の意義、意思決定支援のプロセス、課題と対応シートによる演習) 演習 | |
| | | | | 全日程終了(閉校式とアンケート回収) | |

平成28年度 沖縄県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修 日程表
(厚生労働省標準プログラム)

| 月 日 | 時 間 | 内 容 | | 講 師 | 場 所 | |
|-------------------------------------|-------------|--|--|--------------------------------|-----|-----------------------|
| 平成29年 1月5日(木) | 09:30~09:50 | 受 付 | | | | 浦添市でだこホール 大ホール |
| | 09:50~10:00 | 開講式 | 沖縄県社会福祉士会会長挨拶 及びオリエンテーション | 一般社団法人 沖縄県社会福祉士会 会長 竹藤 登 | | |
| | 10:00~11:00 | 障害者総合福祉法とサービス管理責任者の役割及び 児童福祉法と児童発達支援管理責任者の役割 ・障害福祉の動向について | | 沖縄県子ども生活福祉部 障害福祉課 | | |
| | 11:00~12:30 | ・権利擁護と虐待防止について ・県共生社会条例について | | 調整中 | | |
| | 12:30~13:30 | 昼 食 | | | | |
| | 13:30~15:00 | サービス提供及び支援提供のプロセスと管理 | | 調整中 | | |
| | 15:00~15:10 | 休 憩 | | | | |
| | 15:10~16:10 | サービス提供者と関係機関の連携及び支援提供職員と関係機関の 連携① | | 調整中 | | |
| | 16:15~17:00 | サービス提供者と関係機関の連携及び支援提供職員と関係機関の 連携② | | 調整中 | | |
| 平成29年 1月6日(金) ※予備日 2月4日(土) | 9:00~9:30 | 受 付 | | | | 沖縄県総合福祉センター 各分野別会場 |
| | 9:30~12:30 | 分野別講義 アセスメントとサービス提供の基本姿勢 【アセスメントと支援提供の基本姿勢】 | 介護分野 森田 賢悟 地域生活(身体) 玉城 政人 地域生活(知的・精神) 柿 大二郎 就労分野 伊波 寛也 児童分野 當眞 知子 | | | |
| | 12:30~13:30 | 昼 食 | | | | |
| | 13:30~17:30 | 分野別演習 「サービス提供プロセスの管理の実際事例研究①」(アセスメント編) 【支援提供プロセスの管理の実際事例研究①」(アセスメント編)】 | 演習講師 同上 | | | |
| 平成29年 1月7日(土) ※予備日 2月5日(日) | 9:00~9:30 | 受 付 | | | | 沖縄県総合福祉センター 各分野別会場 |
| | 9:30~12:30 | 分野別演習 「サービス提供プロセスの管理の実際事例研究②」(個別支援計画 編) 【支援提供プロセスの管理の実際事例研究②」(個別支援計画編)】 | 演習講師 同上 | | | |
| | 12:30~13:30 | 昼 食 | | | | |
| | 13:30~16:30 | 分野別演習 サービス内容のチェックとマネジメントの実際(模擬会議) 【支援内容のチェックとマネジメントの実際(模擬会議)】 | 演習講師 同上 | | | |
| | 16:30~17:00 | 閉 講 式 | | | | |